

「ゲームプロゼミ」(高橋順子ゼミ) ゼミ生の声

2022年度ゼミ生 20JC1079 田鎖 諒祐

私は、ゼミに入る前から、情報処理3やコンピューターリテラシー研究などの講義を通じて、プログラミングに興味を抱いていました。そのため、一年間をかけて基礎的なスキルが取得でき、最終的にオリジナルゲームを制作することができることに魅力を感じ、このゼミを選びました。

今年度のゼミでは、「Unity」というゲームエンジンと「C#」というプログラミング言語を用いて、教科書を軸に、ゲームの作成演習を行ってきました。具体的には、春学期にブロック崩しゲームと謎解き脱出ゲーム、夏合宿と秋学期に2Dアクションゲームと3Dアクションゲームです。

春学期は、初歩的な知識のインプットや簡単なゲーム作成演習から始まりました。夏には、静岡県の伊豆半島にある修善寺で合宿を行いました。この合宿では、今までより高度なゲームを集中的に作成しました。また、修善寺の観光名所へ遊びに行きました。観光も行いつつ、演習も進めることができる、メリハリのある合宿でした。秋学期に入ると、徐々に演習の内容が高度になっていき、知識が深まった段階で、オリジナルゲームを制作することが最終的な目標となります。

初めは、初歩的な学習から入るため、プログラミングの経験が浅い方・文系の方でも、このゼミに安心して入ることができます。また、比較的少人数のゼミなので、先生やゼミのメンバーに気軽に質問することができます。プログラミングの経験がある方にとっても、他のメンバーと一緒に作品を制作することは、貴重な体験になると思います。少しでも興味のある方は、このゼミへの参加を検討してみてください。

↓修善寺観光時の写真。左から李俊滉、田鎖諒祐、関根優斗、鈴木春輝、浜田珠聡、丸田貴俊、高橋和峻。

